

ICHIKAWA GENERAL HOSPITAL

東京歯科大学市川総合病院
病院のご案内



東京歯科大学市川総合病院

愛と科学で 済生を

病院の基本方針

- 1 地域医療の中核病院として、多職種が関わる良質で高度な全人的医療を提供します。
- 2 診療・教育・研究において、歯科医学ならびに医学の発展に貢献します。
- 3 病める人の意思を尊重し、個人の情報を保護しながら、医療の透明性を堅持します。
- 4 医療の安全を確保するために最大限の努力をはらいます。
- 5 関連する他の医療・保健・介護福祉機関との緊密な連携を図ります。
- 6 職員の能力開発に取り組み、専門分野のみならず、社会性の向上と人格の涵養に努めます。

患者さんの権利と責務

患者さんの権利を守るため、患者さんご自身とご家族も
病院職員と力を合わせて、医療に参加・協力をお願いします。

患者さんの権利

- ① 個人としての人格が尊重され、根拠に基づいた安全で良質な医療を、公平に受ける権利があります。
- ② 適切な情報提供や、十分に納得いく説明を受ける権利があります。
また、明確な意思を表示すれば、情報を知らされない権利があります。
- ③ 納得をもとに、治療法などを自らの意思で選択する権利があります。
- ④ 自分の診療録の開示、説明、セカンドオピニオンを求める権利があります。
- ⑤ 個人の情報やプライバシーは保護される権利があります。

患者さんの責務

- ① 診断・治療に必要なご自身の情報を正確にお伝えください。
- ② 病院の規則を守り、他の患者さんや病院職員への迷惑行為を慎んでください。
- ③ 受けた医療に対し、医療費をお支払いください。

こどもの権利

私たちは診療をするにあたり、こどもたちをチームの大切なメンバーとして
迎え入れたいと考えています。

あんしんしてすごせるようにするよ。（適切な医療を受ける権利）

- ① 安心できる環境で、もっとも良いと考えられる医療を受けることができます。
- ② 思いやりをもった看護や支援を受けることができます。
- ③ 入院していても、できるだけ病院で遊んだり、勉強したりできるようにします。

みんなでいっしょになおしていこう。（医療に参加する権利）

- ① 病院で経験することや、病気を治す方法について、わかりやすい方法で教えてもらうことができます。そのときに自分がどう感じたかを伝えることもできます。
- ② わからないことや心配なことは、誰かに話したり、たずねたりすることができます。

たいせつにしたいことはまもられるよ。 （人権の尊重と個人情報保護される権利）

- ① こどもであっても、ひとりの人間として価値観や信仰など大切にしたいことを守ってもらうことができます。
- ② 個人情報やプライバシーを大切に守ってもらうことができます。

1946年に14床の歯科病院として開設して以来、東京歯科大学市川総合病院の使命は一貫して地域社会から求められる病院であり続けることだと感じております。これまでも、時代の流れにあわせて救急告示病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域災害拠点病院などの指定取得や、高齢者医療の充実のための訪問看護ステーションの設置、今般の新型コロナウイルス感染拡大への対応など、その時々求められる地域医療への参画をしてまいりました。また、2022年7月には、千葉県初となるhinotori™(手術支援ロボット)を導入し、9月には敷地内に歯科外来棟を新設いたしました。今後も更なる医療の質の向上や医療安全の確保をしつつ、地域社会の求める病院を目指してまいる所存です。

また、設立母体が歯科大学である当院では、歯科診療部門の充実が特長として挙げられます。前述の歯科新棟には、歯科診療台25台に加え手術室1室を備えており、日帰り全身麻酔手術や障がい者歯科治療の対応が可能となっています。さらには、口腔がんをはじめとする難治性の歯科疾患での良好な治療成績はもとより、歯科医師が多くの診療科の中で口腔ケアや摂食・嚥下機能維持など中心的役割を果たすことにより、術後合併症の減少、入院期間の短縮、患者さんのQOLの維持・向上に寄与しています。このような医科・歯科の医療連携は、病院内にとどまらず地域の医科・歯科連携にも繋がり、患者さんにとって有益であると確信しています。

地域社会から求められる医療機関となるには、地域の医療機関との前方・後方連携が必要不可欠です。患者さんに継続性のある適切な医療を提供できるよう、近隣の病院あるいは診療所の先生方と顔の見える関係の構築に力を入れており、「市川リレーションシップカンファレンス」など地域の先生方との勉強会も定期的に開催しておりますので、ぜひご参加頂ければと思っています。

今後も、当院の理念「愛と科学で済生を」を胸に、職員一丸となって地域に頼られる病院となれるよう、日々努力を重ねてまいります。これからも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



沿革

1946 S. 21	1949 S. 24	1951 S. 26	1953 S. 28	1958 S. 33	1964 S. 39	1967 S. 42	1969 S. 44	1972 S. 47	1982 S. 57	1987 S. 62	1989 H. 元	1991 H. 3	1992 H. 4	1993 H. 5	1996 H. 8
東京歯科大学（旧制）の設置認可が下り、我が国初の歯科大学となる。東京歯科大学市川病院も、東京歯科大学の付属病院として開院（当時…市川市菅野6丁目／14床。		整形外科を新設（4科）。 内科、外科が開設され、3科を持つ病院となる（2病棟 30床。歯科大学病院として他科を有したのが我が国初。	病院拡充工事が行われ、110床を有する病院となる。	千葉県指定がん相談所、未熟児養育医療担当機関となる。	眼科を新設（8科）、本館竣工式が行われる。243床に増床。	総合病院の名称使用が認められる。千葉県で7番目の総合病院となる。	放射線科を新設（9科）。	新館病棟落成、261床に増床。	体外受精センター開設、翌年体外受精に成功、翌々年には男児誕生（我が国2例目）。	皮膚科を新設（10科）、東京歯科大学市川病院を東京歯科大学市川総合病院と改称。	体外受精センターで凍結受精卵移植の成功、双子の女児誕生（我が国初）。	泌尿器科を新設。	現在の場所（市川市菅野5丁目）に新病院開設。標榜診療科16科、470床となる。	精神科を新設、標榜診療科17科となる。	「地域災害拠点病院」の指定。

1997 H. 9	1999 H. 11	2001 H. 13	2002 H. 14	2004 H. 16	2005 H. 17	2006 H. 18	2008 H. 20	2009 H. 21	2012 H. 24	2014 H. 26	2015 H. 27	2016 H. 28	2018 H. 30	2019 R. 元	2020 R. 2	2021 R. 3	2022 R. 4
歯科口腔外科を新設、標榜診療科18科となる。	千葉県からの告示により救急病院に認定。	アイバンク、角膜移植機能を備えた市川総合病院角膜センター開設（我が国初）。	市川総合病院リプロダクションセンター開設。	リハビリテーション科を新設、標榜診療科19科となる。	心臓血管外科を新設、標榜診療科20科、570床に増床。	口腔がんセンター開設。	形成外科を新設、標榜診療科21科となる。「地域がん診療連携拠点病院」に指定される。DPCの導入。	標榜科変更により、標榜診療科20科となる。	消化器外科、神経内科、呼吸器内科を新設、標榜診療科23科となる。	病理診断科を新設、標榜診療科24科となる。	標榜診療科26科となる。	腎臓内科、呼吸器外科を新設、標榜診療科27科となる。	「地域医療支援病院」に承認。 臨床検査科が国際規格「ISO15189」を取得。	東京歯科大学すがの訪問看護ステーションを併設。	新型コロナウイルス感染症が蔓延、感染対策を開始。	病院機能評価の更新認定（3rd G. Ver.2.0／主たる機能一般病院2）。	歯科外来棟新設、千葉県初のhinotori™(手術支援ロボット)を導入。現在に至る。

患者さんのスムーズな受診のために

地域医療支援病院として

当院は地域医療支援病院として患者さんと医療に関わる皆さんをより一層バックアップできるよう、様々な窓口を開設しています。

初診のご案内

受診の際には、医療機関からの紹介状が必要です。紹介状のない場合は選定療養費(9,900円・税込)がかかります。

受付時間 平日 8:30～11:00／土曜日 8:30～10:30(第2土曜日休診)

休診 第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始、創立記念日(2月12日)

お問合わせ：患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-322-0151(代表)

医療機関専用

初診事前予約のご案内

初診患者さんのご予約を、医療機関からのFAXにて承ります。申込フォーマットはお問合わせください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-322-0151(代表) FAX. 047-324-8539(直通)

受付時間：平日 10:00～16:00 ※休診日、時間外の場合は、土曜日を除く翌開院日の対応となります。

緊急紹介対応窓口

緊急で受診が必要な患者さんのご紹介には看護師が受診調整を行っています。お電話にて病状をお伝えください。

患者支援センター地域医療連携室 TEL. 047-324-8537(直通)／047-324-8623(直通)

受付時間：平日 9:00～17:00／土曜日 9:00～12:00(第2土曜日を除く)

心臓病センター

心疾患が疑われる場合は、下記にご連絡ください。医師が直接対応いたします。

心臓病センターホットライン【患者非公開】 TEL. 047-324-8671(直通) 24時間 365日 対応

放射線科ダイレクトサービス

CT・MRI・RIの画像診断のご依頼を承ります。初回は登録が必要となります。

放射線科受付 TEL. 047-322-0151(代表)

ご予約受付時間：平日 9:00～17:00／土曜日 9:00～12:00(第2土曜日を除く)

患者支援センター

患者支援センターは、患者さんご家族が安心して治療に専念できるように支援するとともに、患者さんに対して入院前から退院やその後の在宅生活を含めた切れ目のない医療とサービスの提供ができるよう、医療機関・施設などとの連携に努めています。

連携事務部門

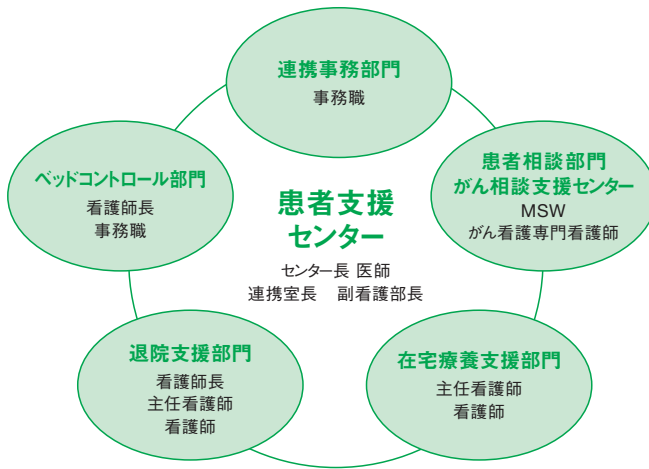
患者さんをご紹介頂く先生方からのお問合わせに対応し、地域医療連携の充実・推進に努めています。ご紹介頂く患者さんの診療予約や診療情報提供などの手配、また講演会の開催を実施しています。

患者相談部門 がん相談支援センター

治療や療養生活、不安や悩み、情報探しのお手伝いなど、様々な相談について、専門の相談員がお応えしています。当院の患者さん、ご家族だけでなく、地域や世代を問わずどなたでもご相談頂けます。

在宅療養支援部門

1日も早く入院前の生活を継続できるように、患者さんやご家族と入院前に外来にて面談を行い、入院準備のための支援をしています。また入院前から地域の在宅療養支援者と連携を図ることで、切れ目のない支援が行えるように取り組んでいます。



退院支援部門

平均在院日数が短くなるなか、入院直後から院内外の多職種と連携して、退院後も切れ目なく必要な医療や介護が受けられるように支援しています。

ベッドコントロール部門

病院の全ての病床を一元管理し、入院治療を必要とする患者さんに、速やかに適切な病床を提供しています。

市川リレーションシップカンファレンス

地域の先生方と当院の医師とのより深い相互理解を得ることを目的としたカンファレンスを行っています。

開催回	演題	開催年月	詳細
第31回 (Zoom開催)	「悪性腫瘍の治療 up to date」	2021年1月	「早期社会復帰をめざした食道癌手術の試み」 「口腔がん治療 Up to Date」
第32回 (Zoom開催)	「新任者の紹介」	2021年9月	「CT・MRIの画像診断」 「人工弁を用いない新しい大動脈弁手術」
第33回 (Zoom開催)	「悪性腫瘍の治療 up to date」	2022年3月	「悪性胆道狭窄に対する内視鏡治療の現況と当院の取組み」 「唾液を用いたリキッドバイオプシーをめぐる最新がん研究」 「当院のがん相談支援センターの役割と成果」
第34回 (Zoom開催)	「新任者紹介」	2022年5月	「脳神経外科」 「内科」 「外科」
第35回 (Zoom開催)	「症例検討」 ～こんな症例、経験しました～	2022年7月	「頭痛を主訴に緊急搬送された1例」 「根管治療で改善せず耳鼻科的治療が必要となった歯髄上顎洞炎の1例」



※新型コロナウイルス感染拡大以前の2019年に行われた現地開催時の写真となります。皆さまに対面開催にてお会いできる日が来るのを心待ちにしております。

診療部門のご案内

呼吸器内科

呼吸器感染症、肺がん、COPDなどの疾患を担当しています。肺がんに対する化学療法、免疫療法、放射線療法、緩和療法などを得意とし、気管支鏡検査やCT下経皮的肺生検などによる組織診断を行います。治療方針は、がんの状態を検査し外科や放射線科との合同カンファレンスにて総合的に検討しています。また、早期に緩和ケアチームに相談して症状緩和に努めたり、年齢や合併症を考慮した総合的な治療を提供しています。

外科

主に消化器がんを治療対象とした消化器外科をメインに、乳がん、肺がんなどのがん治療、胆石やヘルニアなどの良性疾患に対する手術、腹部・末梢血管の動脈瘤、動脈閉塞症、静脈瘤や動脈・静脈血栓症に対する外科治療などを行っています。消化器外科、血管外科、乳腺外科という多岐多様な領域の疾患をそれぞれの分野の専門医師が担当し、チームワークを活かして幅広い外科医療を提供しています。

整形外科

脊椎・脊髄外科、骨軟部腫瘍、小児整形外科、人工関節外科の各部門において日本整形外科学会認定の指導医または専門医が診療に当たっています。とくに骨軟部腫瘍、小児整形外科は限られた施設でしか治療が受けられない領域であり当科の特長です。脊椎・脊髄疾患は、低侵襲手術を顕微鏡下にて行い、術後の早期離床・早期退院を実現しています。

形成外科

形成外科全般の領域において、専門医が専門性の高い診療を行っています。とくに頭頸部・その他領域の腫瘍切除後や外傷後などの再建外科、顔面神経麻痺治療、リンパ浮腫に対する外科的治療などを得意としています。皮膚の良性・悪性腫瘍は皮膚科と密接に協力し、顔面神経麻痺治療についても早期から耳鼻咽喉科・眼科の協力のもとで総合的な治療を行うなど、院内他科と連携し、治療しています。

内科

糖尿病・内分泌分野、血液分野、腎臓高血圧分野、リウマチ・膠原病分野の診療を行っています。疾患として、糖尿病(1型・2型)、脂質異常症、バセドウ病(糖尿病・内分泌分野)、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫(血液分野)、腎炎、慢性腎不全、高血圧(とくに治療抵抗性)(腎臓高血圧分野)、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎(リウマチ・膠原病分野)などに対応しています。

循環器内科

心不全、急性心筋梗塞、狭心症、および不整脈など、ほぼ全ての心疾患に対応しています。最新の薬物治療はもちろん、ステント治療、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、それにPCPS/ECMOといった高度専門的医療まで提供可能です。24時間365日専門医が当直・待機しており、特別な事情がない限り急患をお断りすることはありません。また、慢性心不全の病診・多職種連携に精力的に取り組んでいます。

呼吸器外科

原発性肺がんや転移性肺腫瘍に代表される肺悪性腫瘍を中心に、自然気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍(胸腺腫、胸腺がん、神経腫瘍、リンパ腫など)、気管腫瘍、各種の原因による気管・気管支狭窄、胸壁腫瘍、臈胸、肺良性疾患、胸部外傷などの外科治療を対象にしています。手術では安全性と確実な治療効果を第一の目標とし、状況に応じて術後の痛みの軽減を考慮した胸腔鏡手術や胸壁の損傷を最小限とする工夫をしています。

脳神経外科

脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷などを対象に診療を行っています。脳腫瘍に関しては、髄膜腫などの良性腫瘍に対する手術経験が豊富であり、神経膠腫などの悪性腫瘍に対しては、覚醒下手術、遺伝子診断、放射線療法・化学療法などにより最善の治療を提供できるよう努力しています。脳血管障害に関しては、開頭術と血管内手術の両方を自院で対応できる体制を整えており、症例に応じて検討し決定しています。

麻酔科

日本麻酔科学会指導医・専門医、日本専門医機構専門医、日本歯科麻酔学会専門医・認定医を中心に、コロナ禍の中でも医科・歯科合わせて年間約3,000例の麻酔管理を行っています。手術室の安全管理、術周期の質の向上、研修医・専門医の教育などに力を入れています。また集中治療領域では日本集中治療医学会専門医と、緩和ケア領域では日本緩和ケア学会専門医とそれぞれ連携しています。

消化器内科

ほぼ全ての消化器疾患に対する診断、治療が可能です。内視鏡は年間6,000件以上行っており、止血処置、早期がんを内視鏡で切除するESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)やERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)を数多く行っています。特に胆道・膵疾患に関しては小腸内視鏡を用いた胆道処置、超音波内視鏡下瘻孔形成術、電気水圧衝撃波結石破碎術など特殊治療も行っており東葛南部圏で中心的な施設となっています。

神経内科

入院診療では脳血管障害、神経感染症などの救急疾患を中心に、外来診療では片頭痛、神経変性疾患、神経免疫疾患などの慢性疾患を中心に幅広い診療を行っています。脳血管障害に対しては院内の脳卒中センターとともに共通のプロトコルで脳卒中治療・リハビリを行っています。発症後4.5時間以内の超急性期脳梗塞症例に対しては「24時間t-PA対応」を行い、必要に応じて超急性期血行再建術を行います。

心臓血管外科

千葉県で唯一、自己心膜による大動脈弁再建術＝人工弁を使わずご自身の心臓を包んでいる膜(心膜)でつくった弁を心臓に縫い付けて治す手術を行っています。人工物を使わないため、血液を固まらなくする薬は必要なく、食事の制限もありません。また、狭心症は、心臓を止めずに心拍動下バイパス手術で治療します。長年の経験と熟練した技術により、心臓血管外科手術全般を、チームが一体となり全身全霊をこめて治療に当たっています。



放射線治療装置トモセラピー

緩和ケア科

様々なつらさを軽減するための診療を行っています。がんによる身体の痛みの治療に鎮痛薬は欠かせません。多くの効果の高い医療用麻薬が使用可能になり、吐き気や眠気などの副作用も軽減しています。当科ではがん性疼痛管理の指針を策定し、薬物による症状コントロールをはじめ精神療法、更には放射線治療も組み合わせた疼痛軽減を図っています。疼痛が改善され安心して療養できるよう支援をしています。

精神科

当院では、各種の脳画像・神経心理の検査が可能です。これは近年増加する認知症評価に必要なため、特に認知症の評価依頼等を通じて地域の先生方と連携しております。一方でうつ病等は、薬だけで治すのではなく、心理社会的支援が求められる時代ですが当科にはそのリソースが不足しています。そのためうつ病や不安症等の疾患は原則、心理社会的支援の可能な医療機関に速やかな橋渡しを原則とさせて頂いております。



手術支援ロボット

眼科

眼科一般診療だけでなく、ドライアイ、再生医療、角膜移植、網膜硝子体、緑内障などの専門外来を設置しています。内科との糖尿病性網膜症の治療、歯科・口腔外科や内科とのシェーグレン症候群のような難治性症例への対応など、院内連携を行うことができるのが特徴のひとつです。角膜移植は国内最多の移植件数を誇りますが、常に新しく、より有益な術式を取り入れ、当該分野のフロントランナーとして実績を積んでいます。

放射線科

放射線科では、CT装置やMRI装置などの診断機器を用いて、様々な画像検査を行っています。5名の放射線診断医が、診断報告書を作成するとともに、多様なIVRも数多く行っています。放射線治療部門では、高精度放射線治療が可能であるトモセラピー装置を用いて悪性腫瘍に対する放射線治療を行っています。2名の放射線治療医をはじめ、看護師、診療放射線技師がチームとなってこれに当たっています。

歯科・口腔外科

親知らずの抜歯や先天疾患(口唇・口蓋裂手術や顎矯正手術)、外傷、顎骨疾患、顎顔面インプラントなどの高度な口腔外科治療を行っています。また全身疾患を有する患者さんや障害のある方の歯科治療、口腔粘膜疾患、睡眠時無呼吸、顎顔面疼痛などの専門外来も開設しています。更に、入院患者さんの口腔ケア、摂食嚥下リハビリテーション、骨粗鬆症患者に対するチーム医療にも参加しています。

小児科

小児科専門医4名を含む7名の小児科医がチーム医療を行っています。基本的にどのような分野の疾患も診療の窓口として拝見します。更に、地域のニーズを反映して小児アレルギー外来を開設し、アレルギー専門医が入院診療による食物負荷試験も行っています。学校心臓検診などで見つかった心臓疾患のお子さんや低身長などの内分泌代謝疾患の診療を小児循環器専門医、小児内分泌代謝専門医がそれぞれ担当しています。

泌尿器科

前立腺、膀胱、腎臓、尿管の悪性腫瘍から尿路結石、前立腺肥大症などの良性疾患まで幅広い診療を行っています。低侵襲治療を推奨しておりロボット補助下腹腔鏡手術、3D腹腔鏡手術、単孔式腹腔鏡手術を導入しています。前立腺肥大症には経尿道的前立腺核出術、蒸散術、尿路結石には体外衝撃波結石破碎術やレーザーによる内視鏡下破碎術、がんには放射線治療(IMRT)など、様々な装置と技術による低侵襲な治療を行っています。

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科全般の治療を行っています。複数の専門医が在籍しており、専門領域は鼻副鼻腔、咽喉頭、耳、頭頸部と広範囲にわたります。睡眠障害や摂食障害などの機能障害も対応可能です。鼻副鼻腔疾患においては慢性副鼻腔炎、とくに好酸球性副鼻腔炎に対し内視鏡下鼻内手術を行っています。また、歯性上顎洞炎、睡眠障害、摂食障害では歯科・口腔外科と連携し治療に当たっています。

臨床検査科(病理部門)

生検検体と手術摘除検体の組織診断、細胞診断、術中迅速診断を行い、各診療科における治療方針決定に貢献しています。対象となる疾患は腫瘍性非腫瘍性を含め全身多岐にわたり、地域がん診療連携拠点病院として消化管、肝胆膵、乳腺、肺、腎、泌尿器、生殖器等、造血管、骨軟部などの各種がんの病理診断に対応しています。特に「口腔がんセンター」を有する当院では口腔がんの診断数が多いのが特徴です。



歯科新棟

皮膚科

救急治療を要する帯状疱疹、蜂窩織炎などの急性感染症治療をはじめ薬疹、重症の蕁麻疹、アトピー性皮膚炎の治療、他領域の疾患と関連した皮膚病変の診断・治療に力を入れています。良性・悪性問わず皮膚腫瘍の診断・治療では整容面も考慮し、形成外科と協働して手術を行っています。乾癬、掌蹠膿疱症の診療を行っており、関節炎を伴う症例は内科(リウマチ・膠原病分野)と連携し、生物学的製剤治療にも対応しています。

産婦人科

妊娠管理・分娩を取り扱う周産期医学、不妊やホルモンに関する生殖内分泌学、婦人科がんを治療する婦人科腫瘍学、女性のQOLの向上を予防医学の立場から考える女性医学を4つの柱としてそれぞれの専門医が医療を提供しています。「女性のライフパートナー」としての総合産婦人科を目指し、がん治療後の卵巣欠落症状への対応にも力を入れるなど、治療後のQOLにも配慮した対応をしています。

リハビリテーション科

診療区分は脳血管I、運動器I、呼吸器I、心大血管I、廃用I、がんの6種類で、リハビリ医の指示のもと担当制で訓練を行っています。「早期離床チーム」があり、ICU・HCU入室後48時間以内に多職種による早期リハビリテーションプログラムを導入し、退室後もシームレスなリハビリテーションの継続実施が可能となりました。また脳卒中センター、心臓病センターに専従療法士を配置し、超早期からのリハビリテーションを実施しています。

救急科

当院は2次救急医療機関ですが、市内に3次救急医療機関がないため重症例の受け入れも広く行い、地域における急性期医療を担っています。救急外来の年間総受診患者数は約1万人弱ですが、これらのうち救急車で来院が60％弱で、入院を必要とする中等症以上の患者さんは約30％です。重症度や緊急性の高い急性期の医療を中心に、地域のニーズを意識した救急医療の提供に努めています。

口腔がんセンター

全国でも数少ない、口腔がんの治療に特化した高度な専門治療を行っています。各専門科と連携し手術やがん化学療法等を行うことで、安全な医療の提供を心がけています。口腔がんは、食事・会話・顔貌といった生活に直結した場所に生じるため、常に機能温存に重点をおき最適な治療法を選択します。治療後の機能回復については、義歯や顎顔面インプラント、摂食・嚥下指導などの専門治療を受けることができます。

リプロダクションセンター

国内初の凍結受精卵による妊娠・分娩の成功など多くの実績があります。不妊スクリーニング検査により夫婦情報を共有し、総合的で迅速な治療を行っています。女性外来では人工授精や高度生殖補助医療が必要な症例までに対応し、男性外来では精管精管吻合術や、担がん患者の長期精子凍結保存などの治療を提案しています。近年は精子の詳細な検査や、人工卵管の利用など新しい手技も導入しています。

心臓病センター

ホットライン(医師専用)
047-324-8671

急性心筋梗塞、心不全などの心臓疾患を治療するため、24時間365日専門医が待機し、急患の受け入れを行っています。地域医療機関の先生からの問合せに対し、専門医師が直接対応できるホットラインを設け、救急患者の受け入れができる体制を整えております。循環器内科と心臓血管外科が連携することで、内科的治療と外科的治療の総合的な治療を可能にし、迅速かつ患者さんに適した医療を提供しています。

糖尿病・内分泌センター

1型・2型糖尿病のほか、甲状腺疾患などの内分泌疾患を担当しています。外来診療ではインスリン導入をはじめ連続グルコースモニタリング(CG M)やインスリンポンプ療法にも対応可能です。糖尿病専門看護師による予防的フットケア外来、看護師・管理栄養士とともに行う透析予防外来も開設しています。入院診療では糖尿病教育入院や高血糖緊急症などの急性合併症管理を行っています。また月に1回、糖尿病教室を開催しています。

医療安全管理部のご案内

専従の医療安全管理者や感染管理者、感染管理認定看護師、薬剤師などからなる医療安全管理部を設け、医療現場における安全の確保と感染予防対策を行っています。

角膜センター

海外ドナー角膜の手配、情報管理、移植者のフォローアップを行う角膜移植関連業務部門、提供された眼球を移植者に公平・公正に回転するアイバンク部門、角膜再生医療に加えてドライアイ、角膜移植に関する基礎、臨床研究を実施する研究部門の3部門で活動しています。全層角膜移植、角膜内皮移植、上皮移植や羊膜移植などの角膜移植の術式が対応可能となり、より多くの症例に対して適した術式を選択できるようになりました。



人工心臓装置

透析センター・腎不全治療センター

泌尿器科医と腎臓内科医が在籍しています。腎不全には腎代替法として血液透析、腹膜透析、腎移植のいずれかが必要となりますが、これらの治療はそれぞれ特徴があるため、泌尿器科医と腎臓内科医が共同で、患者さんと最適な治療方法を選択しています。当院は献腎移植の認定施設となっており、生体腎移植では腎提供ドナーに低侵襲な単孔式腹腔鏡手術を行っています。

医療安全管理室

院内で発生するインシデント事例に対し、情報収集、原因究明、再発防止に向けた改善策の立案、臨床現場へのフィードバックを行い、院内の安全管理、医療の質の向上を図っています。5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)ラウンド、MEラウンドを継続して行い、院内の安全確認を実施しています。当院の基本方針「医療の安全を確保するために最大限の努力をはらいます」が遂行できるよう、安全文化の醸成、職員への教育研修を行い、安全で質の高い医療が提供できる病院であるために、日々努力をしています。

医療の質管理室

当院の医療の質の向上を図り、医療安全に資することを目的として新たに設置しました。臨床指標の設定、定期的なデータ収集と分析、関連部署へのフィードバックなどにより、医療の質改善のPDCAを回すサポートをしています。質と安全の両輪でよりよい病院づくりに貢献していきます。

脳卒中センター

脳卒中急性期医療を担うべく、24時間365日脳卒中救急患者さんを受け入れています。日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(PSC)認定、PSCコア施設を委嘱され、脳卒中学会等指導医、脳卒中リハ、摂食・嚥下障害認定看護師を擁します。急性期は必要に応じてt-PA静注療法、血管内手術・内視鏡手術・開頭術を行います。Stroke Care Unit(SCU)で集中管理し、千葉県共用脳卒中地域連携バスで、回復期リハビリ病院、かかりつけ医、在宅療養につなぎます。

脊椎・脊髄病センター

当センターでは、「安全性」「確実性」「低侵襲」を3つの柱にして手術を行っています。具体的には、顕微鏡を使用した筋肉温存型低侵襲手術を行い、超高齢者にも行える低侵襲手術を実践しています。また、脊椎固定術にナビゲーションシステムを導入し、より安全で確実な手術を行っています。がん治療の発展に伴い増加している転移性脊椎腫瘍に対しても脊椎固定術を施行し、患者さんのQOL向上に努めています。



透析センター

感染予防対策室

医療機関において、感染制御と医療安全は両翼をなすと言われます。当院の感染予防対策室では、感染に関する最新の情報を収集し、治療の質の向上、院内感染の防止に取り組んでいます。抗菌薬適正使用の風土づくりに力を注いでおり、毎週、広域抗菌薬投与状況を確認、検討し、現場へフィードバックしています。更に、様々な耐性菌や麻疹、風疹などの流行について自施設のみではなく地域の問題として捉え、地域の医療機関と合同カンファレンスを開催して情報の共有化を図り、感染拡大防止に努めています。

高難度新規医療技術等評価室

当院では、先進的で高度な医療技術や医療機器を診療に新規導入する際に、倫理的・科学的な妥当性や、当院での診療に導入することの適切性、および安全な提供方法を当室が中心となり検討を重ねています。そこで下した判断をもとに、より安全な医療技術・医療機器の新規導入を実行に移しています。

中央施設部門のご案内

患者さんの治療がより安全でスムーズに行われるよう、各部門が専門性を活かし、診療をサポートしています。

看護部

病める人の気持ちに寄り添い、信頼される質の高い看護の提供を目指しています。看護体制は、2人の看護師が一组となり相互に協力し合って日々の看護ケアを行うパートナーシップ・ナースング・システム(PNS)を取り入れています。また多くの専門看護師や認定看護師が在籍し、それぞれの専門知識を活かし、患者さんの治療に貢献しています。

臨床検査科

検体検査「生化学・免疫検査、血液検査、輸血検査、一般検査」は24時間体制で行い、常に品質の高い検査と迅速性を追求し、適切で円滑な医療を提供できるよう努めています。また、中央採血室、微生物検査、病理検査、生理機能検査も含め、国際規格「ISO 15189」認定施設として患者ケアに影響を及ぼす可能性のある不適合の減少に努めながら地域医療支援に貢献しています。

MEセンター

医療機器管理部門と手術室部門と血液浄化部門の3つの部門からなり、医療機器の安全な使用に貢献しています。機器管理部門は人工呼吸器や輸血ポンプなど約800台の医療機器の管理・点検を行います。手術室部門は手術室にある医療機器の管理、心臓外科手術や循環器内科の治療に関わります。血液浄化部門は透析装置や透析液の水質管理、ブラッドアクセスへの穿刺も行います。

栄養管理室

入院患者さんの栄養状態の回復・維持・向上を目的として、栄養・食事管理や栄養指導を行っています。食事療養サービスでは病状に合わせた食事提供を、栄養食事指導では生活習慣や健康状態に配慮した栄養食事指導を行います。臨床栄養管理では栄養状態を評価、管理し、総合的に栄養管理を行います。特別な栄養管理は、多職種による栄養サポートチーム(NST)がお手伝いします。

手術室

中央手術室(9室)、第2部手術室(3室)を備え、各診療科の特性に合わせた手術ができるように設備・人員を整えています。外科系医師、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士などがチームとなり安全かつ円滑に手術が行えるよう努めています。また、病棟・外来・薬剤部など様々な部署と連携を図り、周術期管理を行っています。2022年7月に千葉県初となるhinotori™(手術支援ロボット)を導入しました。

薬剤部

薬剤師が調剤業務、注射・製剤業務(抗がん剤調製を含む)、薬品管理・医薬品情報管理業務、病棟・外来業務の4部門に分かれて日々の業務を行っています。また、様々な分野の専門・認定薬剤師を含む約30名の薬剤師が在籍し、質が高く安全な薬物療法の提供を目指しています。患者さんが退院後も安全で有効な薬物療法を受けられるように、地域の薬局との連携も行っています。



Spectral CT 7500

輸血センター

年間およそ4,000件の輸血を実施しています。血液型、不規則性抗体、交差適合試験などの検体検査や輸血用血液製剤・自己血の保管、管理をしています。主な血液製剤は赤血球液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板製剤ですが、専用の保冷库・冷凍庫で適切に温度管理をしています。安全性を高めるため、輸血専用のシステムを用いて製剤の入出庫・在庫の状況や患者さんの輸血歴などを保管・管理しています。

外来薬物療法室

主にがん患者さんに対し、リラックスして治療が受けられる設備を準備し、一般外来では対応困難な副作用が予想される抗がん剤・薬物の点滴・注射を集中的に行っています。がん看護や心のケアについての知識を有する認定・専門看護師、副作用対策を行うがん薬物療法認定薬剤師が連携し、ご自宅に戻られても安心して生活が送れ、治療が継続できるよう対応しています。

集中治療室

重症感染症患者の治療に対応した陰圧室2床を含む6床を有し、周術期管理症例に加え、高度生命維持装置の装着が必要な症例を中心に年間約500例を受け入れています。医師、看護師に加えて薬剤師、臨床工学士、理学療法士、管理栄養士等、多職種で組織されたチームにより、高度集中治療を実践しています。早期離床リハビリテーション、早期栄養介入管理に積極的に取り組み、集中治療管理からの回復の向上に努めています。



ICU陰圧室

放射線科(技術部門)

放射線科では、CT装置やMRI装置、血管撮影装置など、最新かつ高度な画像診断機器を多く揃えており、質の高い検査を行うことが可能です。また診療放射線技師が24時間体制で勤務し、夜間休日でもCT検査やMRI検査などを行うことができます。良質で安全な画像検査を行うことができるよう、日々の検査装置の品質管理や放射線の被曝管理を徹底して行っています。

コ・デンタル部

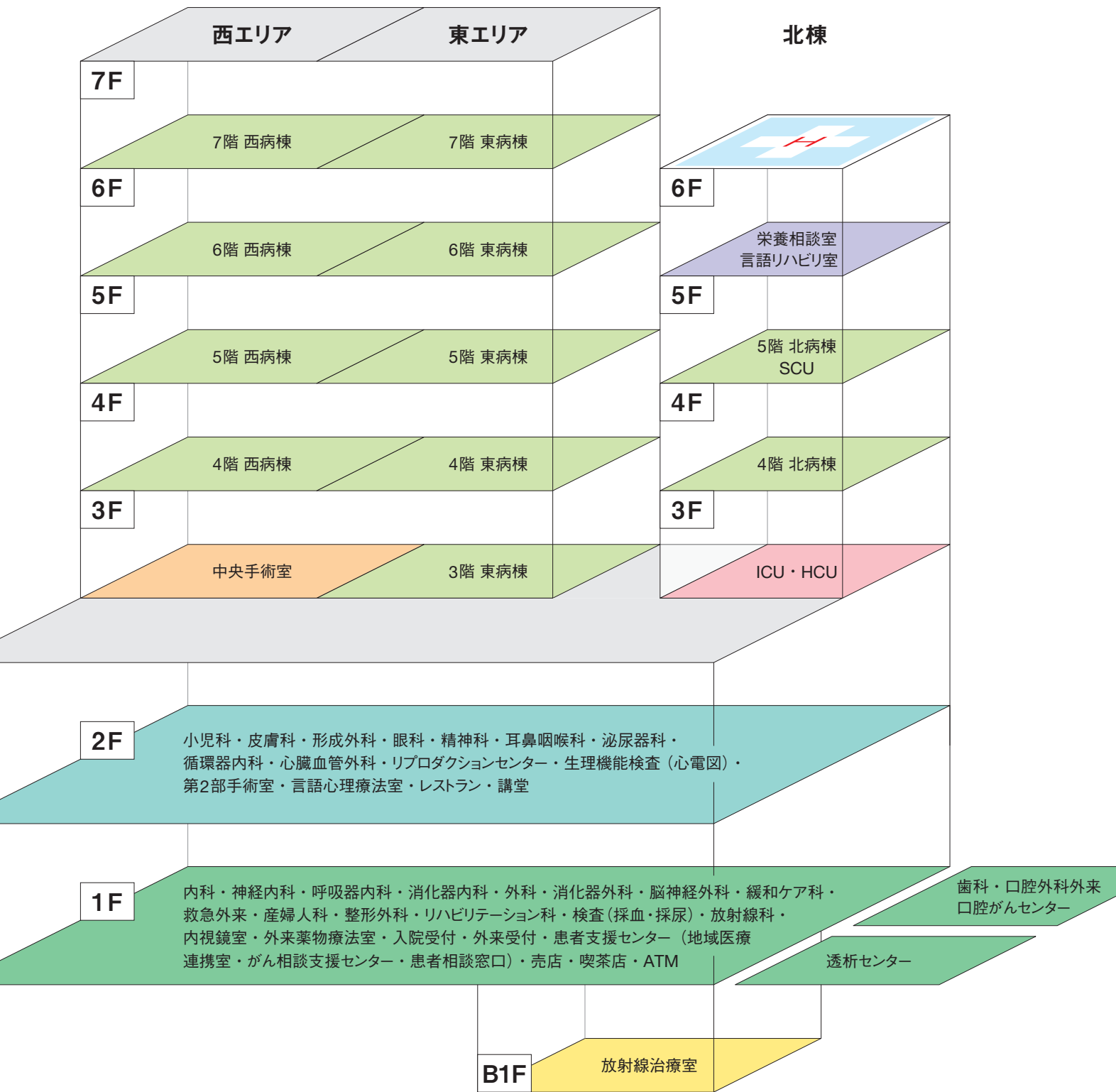
1名の歯科医師、14名の歯科衛生士と1名の歯科技工士が在籍しています。患者さんの口腔衛生や口腔機能の維持・向上、誤嚥性肺炎などの術後合併症の予防を目的として設置されました。口腔内の健康管理だけでなく、口腔を通して全身管理を行うことも大切にしています。また患者さんが「美味しく食べられる」「楽しく会話ができる」などのQOL向上のための支援も行っています。



外来薬物療法室

フロアマップ

当院のフロアマップとサービス設備をご紹介します。



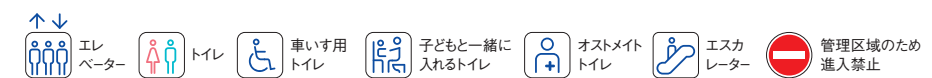
救急外来陰圧室



1Fオストメイトトイレ



歯科・口腔外科外来・口腔がんセンター入口



①患者支援センター
各種相談窓口入口



②売店



③ATM



④喫茶店



⑤受付窓口



⑥自動精算機



⑦自動再来受付機



⑧レストラン

病院概要

病床数：570床

歯科診療台数：25台

標榜診療科（26科）

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、麻酔科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科

診療センター

角膜センター、リプロダクションセンター、口腔がんセンター、脊椎・脊髄病センター、糖尿病・内分泌センター、心臓病センター、脳卒中センター、透析センター、腎不全治療センター

主な指定医療など

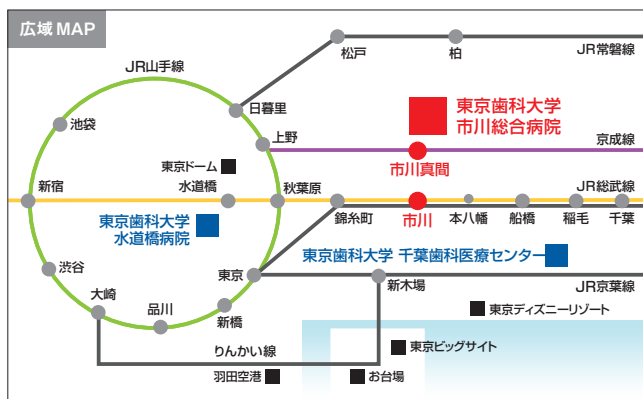
生活保護法、被爆者一般医療、身体障害者福祉法、児童福祉法（育成医療）、臨床研修病院、臨床修練病院（外国医師・外国歯科医師）、災害拠点病院、救急告示病院（千葉県）、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、腎臓移植施設、日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター

主な医療機器

MRI（3.0テスラ、1.5テスラ）、CT（128列、320列）、放射線治療装置（トモセラピー、マイクロセレクトロン）、核医学検査装置（ガンマカメラ）、マンモグラフィ装置、血管撮影装置、骨塩定量装置、3D腹腔鏡、体外衝撃波結石破碎装置、手術支援ロボット

ACCESS

- 1 JR総武線「市川」駅から、北口2番停留所より
京成バス「市川学園」行または「本八幡駅」行乗車、「市川総合病院」下車
※JR総武線「市川」駅からタクシーで約10分。700円～1000円程度。
- 2 京成線「市川真間」駅から、市川真間駅停留所より
京成バス「市川学園」行または「本八幡駅」行乗車、「市川総合病院」下車
- 3 京成線「菅野」駅より徒歩10分



関連施設

東京歯科大学水道橋病院

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18

東京歯科大学千葉歯科医療センター

〒261-8502 千葉県千葉市美浜区真砂1-2-2



東京歯科大学市川総合病院



〒272-8513 千葉県市川市菅野5-11-13 TEL. 047-322-0151 (代表)